



味と技

P.9・10

雅



食



懐



湯

温泉

P.7・8



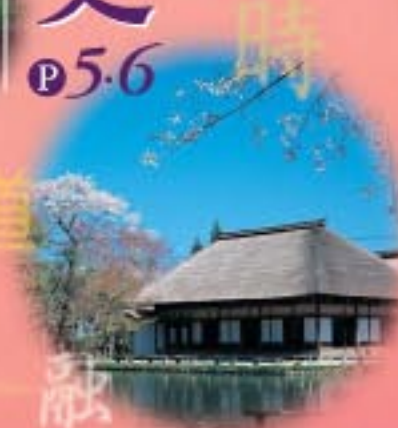
祭

歴史

P.5・6

道

融



風

空



自然

P.3・4

山

川

ゆっくり、
ゆっくり、

いつもの景色、いつもの時間。
橋の下を流れる川も、
色とりどりの花咲く道も、
どこまでも続く田舎も、
大きな山も、
ずっとそこに在る建物も、
朱色に染まる夕焼けも、
あたたかな空気も、
道はただそれ通う人も
いつもよりちょっとだけ、
ゆっくり眺めてみよう。
ゆっくり歩いて寝かめてみよう。
大崎には、ここにしかないもの、
訪ねをかけて大切に育まれてきたもの、
守られてきたものがたくさんある。
今も昔も変わらないも、
輝き続ける大崎のものたち。
大崎でふれて、感じることが出来る
そのすべては
かけがえのない「宝」。
かけがえのない、大崎の人の心。